

会員認証工場の皆様へ

参加者募集

OBD確認を体験してみませんか？

～ 検査用スキャンツールの導入意向調査～

貸出用の検査用スキャンツールを使って、自工場でOBD確認を体験できます。

対象事業場：以下の条件に当てはまる認証工場

- ✓ 検査用スキャンツール(整備兼用も含む)をお持ちでない方
- ✓ Windowsパソコン(※)をお持ちの方
- ✓ 事業場内にネット環境のある方

※OS：Microsoft Windows 11、CPU 1GHz以上、メモリ 2GB以上、ディスク空き容量 1GB以上等の一定の制限があります。

貸出用の検査用スキャンツール：DENSO DST-010(検査専用)

貸出期間：1工場1回の貸出につき1週間
(貸出日については別途調整)

体験可能な期間：令和8年2月まで

OBD確認の使い方が分からない

OBD検査システムの設定がわからない



パソコンをお持ちいただければお手伝いします。
振興会にご相談ください。

ご存じですか？

認証工場が事前に「OBD確認」を行うと、検査コースでのOBD検査が原則省略されます。

(注) 指定工場に外注する場合、指定工場ではOBD検査の実施が必須です。

自動車技術総合機構でのOBD検査不適合あり率 **11.9%**
(令和7年2月23日現在)

～OBD確認体験の3ステップ～

ステップ①:貸出日の調整、OBD検査システムの利用登録

- ・参加ご希望の方は、振興会までご連絡ください。
- ・振興会にて貸出日の調整を行います。（貸出期間は原則1週間（7日間））
- ・貸出開始日までにお持ちのパソコンにOBD検査システムの利用準備をします。※
※お持ちのパソコンへのOBD検査システムの利用登録や特定 DTC 照会アプリ等の設定
支援をご希望の場合は、振興会までお伝えください。



ステップ②:スキャンツールの受取、OBD確認の実施

- ・貸出開始日になったら振興会窓口でスキャンツールをお受け取りください。
- ・自工場で点検・整備した車両にOBD確認を実施してください。※
※可能な限り、複数台に対してOBD確認の実施をお願いします。
※ご不明点あれば、振興会までご連絡ください。



ステップ③:スキャンツールの返却、アンケートの提出

- ・貸出期間が終了したらスキャンツールを振興会窓口に戻却してください。
- ・アンケートにOBD確認を実施した感想や今後の導入意向を記入のうえ提出してください。



本体験は自動車技術総合機構の「検査用スキャンツールの導入意向調査」の一環で実施しています。

検査用スキャンツールの導入意向調査とは

- ・令和6年10月からOBD検査の運用が開始されてからこれまで一定程度、不適合となる車両が確認されています。
- ・年々、OBD検査対象車が増加することから、持込検査前に「OBD確認」により、基準適合性確認を行うことの重要性が増していくことになります。
- ・一方、OBD確認を実施するまでには、OBD検査システムの利用登録やOBD検査用スキャンツールの準備が必要であり、これがハードルになっている可能性が考えられるため、検査用スキャンツール未導入の認証工場様を対象に、スキャンツールの貸し出し、「OBD確認」を実施（体験）いただき、その感想を踏まえ、今後の検査用スキャンツールの導入意向等を調査するものです。
- ・本調査は、自動車技術総合機構が実施しています。

多くのご参加、アンケートへのご記入、よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛県自動車整備振興会 企画調査課
TEL：089-956-2181